

## Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/08/01

### Forex

|           | Close  | CHANGE |
|-----------|--------|--------|
| USD/THB   | 35.54  | -0.35  |
| JPY/THB   | 0.2370 | 0.0020 |
| USD/JPY   | 149.98 | -2.79  |
| EUR/THB   | 38.47  | -0.32  |
| EUR/USD   | 1.0826 | 0.0011 |
| USD/CNH   | 7.227  | -0.017 |
| SGD/THB   | 26.61  | -0.14  |
| AUD/THB   | 23.25  | -0.21  |
| USD/INR   | 83.73  | 0.00   |
| USD Index | 104.10 | -0.46  |

### Bond

|           | Close | CHANGE |
|-----------|-------|--------|
| 5Y (THB)  | 2.343 | -0.013 |
| 10Y (THB) | 2.588 | -0.006 |
| 5Y (USD)  | 3.913 | -0.120 |
| 10Y (USD) | 4.030 | -0.110 |

### Commodity

|           | Close   | CHANGE |
|-----------|---------|--------|
| GOLD      | 2,426.5 | 21.5   |
| WTI (Oil) | 77.91   | 3.18   |
| Copper    | 9,225.0 | 253.0  |

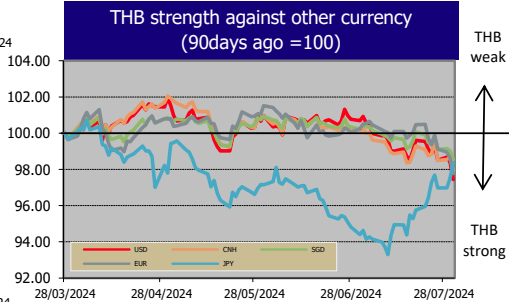
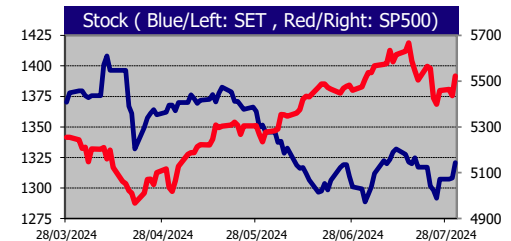
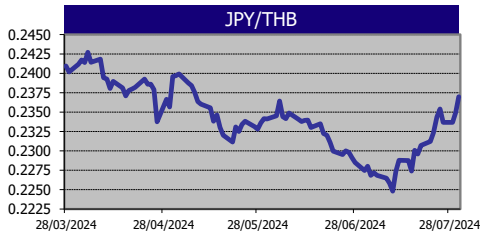
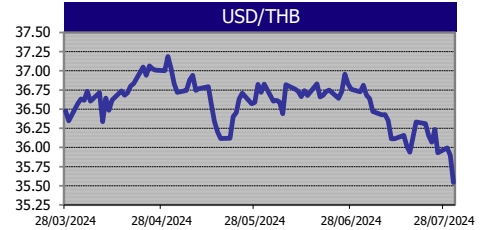
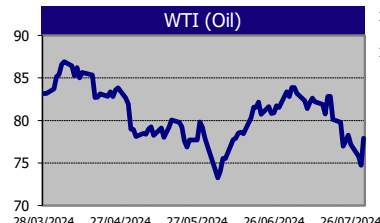
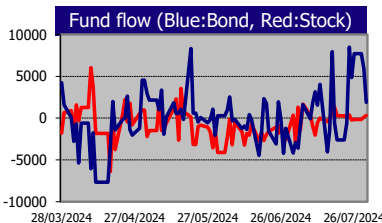
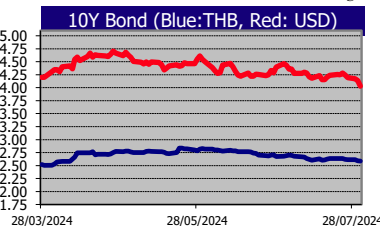
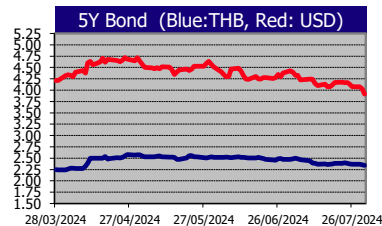
### Stock

|             | Close     | CHANGE |
|-------------|-----------|--------|
| SET (TH)    | 1,320.86  | 12.77  |
| NIKKEI (JP) | 39,101.82 | 575.87 |
| DOW (US)    | 40,842.79 | 99.46  |
| S&P500 (US) | 5,522.30  | 85.86  |
| SHCOMP (CN) | 2,938.75  | 59.45  |
| DAX(GER)    | 18,508.65 | 97.47  |

### Fund Flow (Overseas Investors)

|                | Close | CHANGE  |
|----------------|-------|---------|
| Stock net flow | 301   | 199.7   |
| Bond net flow  | 1,887 | -4021.9 |

\*compared with previous day  
(Source: Bloomberg)



### Yesterday's market summary

#### ●ドルパート

●昨日のドルパートは下落。35パート台後半で取引を開始。海外時間にFOMCの結果公表を控える中、ドル売り優勢の地合いとなり、ドルパートは下落。バンコク時間午後にはタイ6月経常収支が市場予想を上回る黒字となったことが確認されると、35パート台半ばの水準まで下落幅を拡大させた。海外時間、注目のFOMCでは市場予想通り政策金利は据え置かれたものの、声明文において雇用、インフレに関する文言がハト派的なものに変更されたことに加え、パウエルFRB議長の見会では9月利下げの可能性が示唆されたことで、ドル売り優勢の地合いが継続。終盤にかけてもドルパートは上値の重い推移が続き、結局35.54レベルでクローズを迎えた。

#### ●ドル円その他

●昨日のドル円は下落。152円台後半の水準で取引を開始すると、日銀金融政策決定会合の結果公表を控え、揉み合う展開に。その後、日銀より政策金利0.25%への引き上げ、国債買い入れ減額が発表されると、発表直後こそドル円は大きく上下したものの、利上げ幅や減額規模が想定範囲内であったことから、結局水準は発表前と変わらず。ただ、その後の植田総裁の見会にて、今後の利上げに前向きな姿勢が示されたことから次第に円買いが進み、ドル円は150円ちょうど付近まで下落した。海外時間に入ると、米6月ADP雇用統計の市場予想を下回る結果に149円台後半を付けるも、その後151円台前半まで反発する等、神経質な値動きに。ただ、ハト派的と捉えられたFOMCを経て下落に転じ、終盤にかけて150円ちょうど付近まで戻し、149.98レベルで引けた。

### Bangkok Dealer's Eye

昨日のビッグイベント、日米両国の金融政策決定会合は、日銀が利上げと国債買入減額計画の同時発表というタカ派寄りの決定をする一方、FOMCは金利据え置きながらその後のパウエルFRB議長の会見で9月の利下げが示唆されるハト派寄りの内容で幕を閉じた。日銀の利上げについては市場の見方は最後まで割れるところであったがゆえに、相場は円全面高の結果とはなったが、恒例の事前観測報道により市場の混乱は比較的抑えられたようにも見えた。今後の関心事の一つとして、円高はどこまで進むかという点が挙げられそうだが、この点、市場は既に米国の年内利下げ、日銀の年内追加利上げを相応に織り込んでいることを踏まえると、ここからの円高進行を見通すのは個人的には難しいと考えている。基本的に日本のマクロ経済指標は追加利上げを許容するほど強くないこと、年後半の米大統領選とその後の新大統領の経済政策が全く読めないことは、どちらかというと今の利上げ織り込みを剥落させる方向に作用しやすいだろう。更なる円高が期待できるとすれば米国の年内2回ないしは3回の利下げ観測が今後の経済指標を通じて確度が高まる或いは利下げ時の下げ幅が変わることなどが考えられるが、米国の政治日程を考えればその可能性も低そう。かかる状況ではあるが、昨日パウエル議長からはインフレだけでなく雇用にも目配りするとの発言もあった。まずは明日発表の米7月雇用統計の内容に注目したい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.